

閉会のご挨拶

モンゴル日本語教師会

S. バットトルガ



モンゴル・日本語教師会のバットトルガです。ここにお集まりの皆様、2日間、どうもありがとうございました。そして講演、発表をはじめ貴重なお話をしてくださった先生方、本当にお疲れ様でした。特に、お忙しい中、我々の希望を受け入れてくださり、国際社会における日本語教育スタンダードおよび日本の教育現場における現状と諸問題について詳しくお話してくださった東京外国語大学教授の坂本先生、伊集院先生、そして東京学芸大学教授の齋藤先生に心より感謝を申し上げます。

モンゴルの日本語教師が一堂に会する機会は、モンゴル日本語教師会が開催するこの日本語教育シンポジウムだけあります。このシンポジウムは、日本語教育現場における諸問題、実践活動および研究、日本語教育内容、その改善など、日本語教育に関する幅広い課題について話し合いができ、また、意見と情報を交換できる場としても有意義な会であったといえます。これが、今回のシンポジウムの大きな成果ではないでしょうか。

近年、モンゴルにおける日本語教育の現状も変化しつつあり、日本語学習者も多様化してきています。この「多様化」は、日本語学習者のための実践的日本語教育のみならずモンゴルにおける日本語教育スタンダードの必要性を意味するのではないかと思います。我々日本語教師の現場における実践的研究と積極的な活動、つまり、日本語教師会による活動の活性化がさらに必要になってくると思います。

最後に、日本語教師の皆様の方の今後の更なる活躍をお祈りし、閉会のご挨拶とさせていただきます。皆様、どうもありがとうございました。